

サルに負けじと柿収穫

「さる×はた合戦」 畑地区で70人が800キロ

畑地区のみたけの里づに分かれて実施した。初に協議会（） 会 長）が10月21日、サルの出没を抑制する柿収穫イベント「さる×はた合戦」を行った。丹波篠山市内を中心に三田市や神戸市などから約70人が参加。約800キロを収穫し、分け合った。

今年で11回目。11カ所



高枝切りばさみで柿を取る参加者＝丹波篠山市畑宮で

みやせん定ばさみを使って収穫。子どもたちも低い枝になった実をもぎ取っていた。インターネットで知り、昨年続き2回目の参加という。さん

（猪名川町）は、「昨年は干し柿にして食べたらいしかった。汗をかきながらの作業は楽しい」と懸命に腕を伸ばして切っ



参加者約70人が収穫し、集めた約800キロの柿

ていた。スタッフが、獣害柵の点検を行う「さる×はた合戦」、タケノコを掘る「たけ×はた合戦」もあった。

ることを さんに伝えると、 さんは「今度はタケノコ掘りに来ようかな」と興味を示していた。収穫した柿は参加者が持ち帰ったほか、篠山東

雲高校がジャムやドライフルーツ、パウダーなどに加工し、ふるさと納税の返礼品にする。

2023年11月2日

丹波新聞